# 2025 年度事業計画書

特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所

## １．基本方針

2024 年度から新しい事務局体制に移行し、1 年が過ぎました。この間、事務局機能の円滑な移行、こうべまちづくり会館の安定的運営、経営上の課題点の改善、会員への情報提供や役割分担化などを行なってきています。不十分な点は多々ありますが、それでも次第に安定的運営が図れるようになってきています。今後は、デジタルツールの活用や効率的な会議運営、定期的な情報発信や役割分担の仕組みづくりなど、会員の潜在力を発揮できるような体制づくりを目指してまいります。

経営上の重要な課題となったこうべまちづくり会館の指定管理業務については、協力事業者の見直し等を図ったことで、一定の改善が得られました。とはいえまだ十分なものではなく、より安定的経営体制を目指す必要があります。一方で、これまで実施してきている事業を硬直的、慣例的に繰り返すだけでは、法人としての成長が促せず、それは衰退に向かうことを意味します。新たな挑戦が、小さなものであれ必要であり、それは法人の使命に則っていなければなりません。そのためには、私たち会員が、「やりたい」「すべき」「できる」と思える環境を整える必要があると考えます。

こうべまちづくり会館の運営については、貸室利用率の上昇、若手中心の多様な参加などの成果が上がりました。今後はより幅広い、特にベテラン世代、シニア世代を対象に、若手とつなぐ、あるいは両立させるような取組みが必要でしょう。また、会館を用いて収益を上げる取り組みも必須と言えます。私たち法人が拠点を備える、という重要性と同時に、「幅広い市民のまちづくりの拠点」としての意義を再認識し、その拠点性の拡大を図ってまいります。

能登復興支援については、地元住民や自治体との関係構築がある程度できたので、今後は実践的な復興支援に向かうこととなります。地域により状況は異なるため、支援のあり方は地域毎に検討する必要があると思われます。その中で、シニア世代と若目・若手世代がグループを組んで支援することで、地域住民の持つ潜在力と可能性を拓くと同時に、若目・若手世代の復興まちづくり支援者としての経験値や技術の向上を目指します。そのことは、神戸市や兵庫県、さらには全国において、今後よい影響を残すものと考えています。

また新たな取組みとして、「マンションコミュニティアドバイザー派遣事業」を実施することとなりました。これは神戸市中央区のプロポーザルにおいて採択されたものです。中央区域内のマンション５棟程度を対象に、3 年間で他のマンションにも敷衍可能なコミュニティ形成のあり方を検討し取りまとめる予定です。日本全体の共同住宅居住者が 45%に至っており、対象区域では 80%にも達しようとしている現在においては、遅すぎる取組みであるとも言えますが、私たち法人の会員が蓄積してきたコミュニティ支援の経験と現場知が、最も発揮できる分野であるとも言えます。また 2024 年度から検討されてきた、交通まちづくりに関連する「自動運転社会実装推進支援事業」の実施も、視野に入ってきています。これは交通における技術革新（自動運転）の導入が地域に与える影響を検証するものであり、対象地区（住吉台、六甲アイランド）に限らず、公共交通撤退の課題が顕在化している農村部等で広く展開が可能な潜在力を孕んでいます。それぞれ、今後の地域コミュニティに与える影響の大きなものであり、真摯に誠実に取組むことが、次の段階のより大きな成果へと結びつく可能性が高いと考えています。

これ以外にも、神戸市のまちづくり専門家派遣、こうべまちづくり会館での「こうべあいウィーク」の開催、居住支援法人への支援、関連団体とのネットワークの構築など、継続的に実施すべき事業もあります。これらはいずれも、現代の地域社会の課題に直結したものであり、それぞれでの成果が期待されています。そしてその実現をより効果的に、効率的に図るためには、法人の持つ会員の人的資源が、より力を発揮できるような体制づくりが必要です。ニュース配信やまち研トーク、スナック復興など、リアル、オンラインを問わず、会員相互の連携がより深まる取り組みも、合わせて継続的に実施してまいります。

2025 年度は、阪神・淡路大震災 30 年の節目を経た、新たな次の段階へと向かう 1 年になると考えております。昨年ご逝去された小林郁雄さんはじめ、先達の皆さまの実績と意志を引き継ぎ、新たな可能性を示すことができる 1 年となるよう、会員の皆さまと共に努めてまいります。

## ２．特定非営利活動に係る事業

### （１）民間非営利組織、市民活動及びまちづくりに係る調査・研究・研修・政策提言

**■研修事業**

**〇研修受け入れ事業**（自主事業／2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

震災体験現地交流プログラムや、市民活動やまちづくりに関わる人々との交流・体験プログラムにて、各種団体の研修・視察を受け入れる。

**〇講座・勉強会事業**（自主事業／2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

講座・勉強会・セミナー開催や開催支援業務の受託はまちラボを積極的に活用するものとし、まちラボで開催するものは（３）の会館自主事業として行う。

### （２）民間非営利組織、市民活動及びまちづくりの支援事業

**■会館管理運営業務**

**〇神戸市立こうべまちづくり会館の管理運営業務**（神戸市委任事業／2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

神戸市立こうべまちづくり会館条例及び条例施行規則、並びに会館の指定管理者応募要領における指定管理者が行う業務の管理基準及び当研究所が提出した会館の事業計画書に記載する提案に従い 、会館の指定管理者として、以下の業務を行う。

（１）貸館事業に関する業務
（２）施設及び設備の維持管理に関する業務
（３）その他施設の維持管理・運営に付随する業務
（４）自主事業 に関する業務

※指定管理業務の指定期間は、2024 年 4 月 1 日～2029 年 3 月 31 日の 5 年間。

**■被災地支援事業**

**〇復興まちづくり支援事業**（自主事業／2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

行政からの委託事業や補助事業で支援してきた地区などを可能な範囲で継続して支援していく。対象地区は、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害並びに 2023 年 1 月の能登半島地震を想定している。

**〇ひょうご復興まちづくりアドバイザー派遣事業**（兵庫県／2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

復興に向けて住民が主体的に取り組むまちづくり活動を支援することで兵庫県における復興まちづくりに係る専門家を育成する事業を使い、被災地である石川県珠洲市支援を行う。

**〇金蔵地区のまちづくり復興支援**（認定 NPO 法人難民を助ける会[AAR Japan]／2025 年 2 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

能登半島地震で被災した石川県輪島市金蔵地区の地域住民を主体とした復興まちづくり協議会が組織されることを目的とし AAR Japan と覚書を交わし支援している。

**■自動運転社会実装推進支援事業**

**〇自動運転社会実装推進支援事業**（株式会社みなと観光バスからの委託事業／2025 年 6 月契約日～2026 年 3 月 31 日※予定）

神戸市と株式会社みなと観光バスが国交省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金(自動運転社会実装推進事業)間接補助事業」を活用し実施するバスの自動運転に関する実証実験に伴う社会受容性確保に関し、企画運営を受託し実施する。市民一般に対する認知度向上のためのフォーラムの開催、モデル路線対象地域である六甲アイランド、住吉台の地域団体への理解促進支援、自動運転バス路線に関する住民目線からの各種安全情報収集及びモニター募集・選定の支援、モニターや住民参加による自動運転に関する課題確認のワークショップ企画運営、上記に伴う広報などを実施する。

**■マンションコミュニティアドバイザー派遣事業**

**〇マンションコミュニティアドバイザー派遣事業**（神戸市委託事業／2025 年 5 月 13 日～2026 年 3 月 31 日）

神戸市中央区のマンションの災害時対応や維持管理、高齢者の孤独化など様々な課題を解決するため、マンション内及び周辺地域とのコミュニティ形成の支援を行う。モデルとなるマンションを選定し、各マンションにアドバイザーを派遣し伴走支援を行い、知見を取りまとめる。

※業務の期間は、2025 年 5 月契約日～2028 年 3 月 31 日の 3 年間。

**■アドバイザー派遣事業**

**〇神戸市まちづくり専門家派遣によるアドバイザー派遣**（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

神戸市地域団体（会下山地区まちづくり協議会）より派遣依頼があり、会議の開催等にあわせてアドバイザーを派遣し専門的なアドバイスを行う。

**■相談事業**　　市民活動やまちづくりについての相談を受ける。

**（３）まちづくり及び地域再生のために必要な事業**

**■会館自主事業**

**〇会館 4 階一部借受スペース活用事業**（自主事業／2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

こうべまちづくり会館の 4 階の一定スペースを神戸市から目的外使用として借り受け、活動場所としての貸し出し、物品販売、講演会等の活動を展開する。神戸市との契約により収益事業を行うことも可能であるため、（1）の研修事業、（2）の相談業務及び HMP 事業についても、有償の事業としてまちラボで開催していく。

**〇会館床賃貸事業**（自主事業／2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

こうべまちづくり会館の 5 階ワークスペース 8 ブース、1 階古書店並びに自販機設置場所を神戸市から目的外使用として借り受け、使用者と賃貸契約を交わし管理業務を行う。

**〇駐車場賃貸事業**（自主事業／2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

市有不動産である路外駐車場（元町通 5 丁目駐車場）5 区画を神戸市より借り受け、使用者と賃貸契約を交わし管理業務を行う。

**（４）その他この法人の目的を達成するために必要な事業**

**■ニュース等の発行**

会員向けに、それぞれの会員がどんな活動をしているかを相互に知ることができるような広報を行う（紙・WEB 等に限らない）ことを目指し、担当理事を決めて事業を進める。

**■1.17 関連企画「こうべあいウィーク」の開催**

「こうべあいウィーク」として、まちラボを中心にこうべまちづくり会館全館を活用し、防災・復興まちづくりに関する展示・セミナー・フォーラムを総合的に開催する。

**■団体・実行委員会・ネットワーク等に参加**

・ひょうご市民活動協議会（HYOGON）（正会員／運営委員：野崎隆一）
・近畿災害対策まちづくり支援機構（正会員／代表委員：野崎隆一）
・こうべ団地みらい創生機構（正会員／代表理事：野崎隆一）
・災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（構成団体／委員：浅見雅之）
・明舞再生塾（構成団体／担当：野崎隆一）
・こうべあいウォーク 2026 実行委員会（構成団体／実行委員長：野崎隆一）
・ひょうご中間支援団体ネットワーク（登録団体／担当：浅見雅之）
・ひょうごふるさとづくり交流会議（登録団体／担当：浅見雅之）
・ESD 推進ネットひょうご神戸（RCE Hyogo-Kobe）（代表：野崎隆一）
・ひょうごボランタリープラザ運営協議会（委員：野崎隆一）
・防災ツーリズム推進事業企画委員会（委員：浅見雅之）
・しみん基金 KOBE（理事：野崎隆一）
・神戸モダン建築祭（実行委員長：松原永季）　　など

**３．事業実施体制**

**（１）会議に関する事項**

**■通常総会**

開 催 日　　2025 年 5 月 27 日（火）
開催場所　　まち活拠点まちラボ

**■理事会**　　隔月開催する。（※事務局会議を毎月開催する。）

**（２）事務局体制**

**■事務局長**：北村胡桃　　**事務局次長**：初田直哉　　**事務局スタッフ**：川村憲之（短時間勤務職員）
**会館管理運営業務・会館自主事業担当職員**：古川建太（常勤正職員）、戸川由子（常勤正職員）、大原一哲（短時間勤務職員）、今地春乃（パート職員）、辻信一（パート職員）